



上=ガビオン、板張門柱、角材スクリーンを組み合わせた門柱門袖兼間仕切り。スクリーンで抜けつつあることから圧迫感がない。板張門柱とガビオンは直線的なラインをつなげるようにつけることで、モダンな雰囲気に仕上げた。下=ガビオンはおしゃれの「おしゃガビオン」を採用。中に入れる石によっても詰め方によっても雰囲気を変えることができる。

門まわり使用資材
おしゃガビオン（門柱、おしゃ染）、*****

造園設計・施工=東松エクステリア

ガビオン+石+板張門柱でつくる モダンな表情のファサード

「L字型の敷地に建つ住宅。直角に当たる部分をアプローチとして、その平行線上に門柱と門袖、フェンスを兼ねた壁によって道路と庭を間仕切る。門袖にはさまざまなデザインを提案したが、その中でガビオンを使ったデザインが採用された。ガビオンの中には地元岐阜県で採れる青白い割栗石を丁寧に隙間なく詰め込み、繊細な雰囲気に仕上げるよう心がけた。さらにインパクトのあるファサードにするために、木を組み合わせることを思いつき、アマゾンジャラの板張門柱をガビオンの隣に配置して、そこにポストやインターホン、表札などの機能を集約させた。



右=ガビオンの門柱に重なるように、異素材で仕上げた低い門袖をレイヤーとして重ねることでリズムをつけた。この低い門袖には表札を設置。手前に植えた高木の影が投影される眺めが美しい。左=駐車場と門袖との間は植栽帯として高木と下草を植えている。ガビオンと石は植物の背景としても相性が良い。

門まわり使用資材
おしゃガビオン（門袖、おしゃ染）、*****

造園設計・施工=東松エクステリア

目隠しと室内の背景を兼ねた 砂岩石とガビオンの門柱



住宅とその手前に広い駐車スペースの間に建てた、門柱と門袖。木の板張りと同じ色合いの壁を組み合わせるとナチュラルな雰囲気の外装に合わせ、門袖は、ガビオンの中に自然石を詰め込んだ大胆なデザインとした。この門袖の背後はリビングになっていることから、道路からの目隠しでありながら、室内から見た時に面白い風景が眺められるよう考えた。ガビオンの中には色合いが微妙に異なる砂岩石を詰めて、単調なイメージにならないよう心がけた。ゴツゴツした石のテクスチャーは植栽によって和らげた。

作庭に役立つ
素材と技術
18
多機能化する
門まわり最前線



門柱と門扉の位置を分けることで 自由度が増した楽しいアプローチ

右=庭とアプローチの間には5mのアオダモや2.5mのソヨゴを、生垣にはカラタネオガタマやマキを植栽し、室内への視線を遮断。敷地の角地には石を据えて前庭をつくり、道行く人たちの目も楽しませている。左上=玄関前の門袖。壁付けタイプのポストと宅配ボックスを壁と面一で設置してスッキリとした印象に。左下=門袖の裏側。玄関の目の前に機能を集約させた門袖を配置しているため、門の外に出なくても、玄関を出たらすぐに郵便物や宅配物を受け取れて便利だ。

門まわり使用資材
*****（門扉、フェンス、*****）、
コンボ ハーフタイプ（宅配ボックス、パナソニック）、*****
*****（ポスト、*****）
造園設計・施工=安行庭苑



角地で平坦な四角四面の敷地に建つ住宅。道路から直線にアプローチを取るのには面白くないため、正面斜めからアプローチを取ることで、誘導に変化をつけた。動線の余白は前庭として石を据え、植栽することで前庭を眺めながらアプローチできるようにした。道路と住まいのランドレベルが同じであるため、玄関まわりは門袖で覆い、木調のフェンスと門扉をつけてセミクローズ外構とした。門袖の内側の余白にも植栽することで玄関まわりでも四季を感じられるようにした。

ナチュラルな前庭に映える 漆喰と枕木の門柱



上=門柱は上部に曲線を描く造形とし、漆喰仕上げとしてサイドに枕木を添えた。アンティークランプ、アイアンの表札をプラスして全体的にナチュラルテイストで統一させた。下=玄関前の床は硬質砂岩で階段状のアプローチとして、リズムカルに玄関まで誘導させる。その一部をかき取り、高さ3mのウラジロミノキを植栽。手前の門柱前に植えた下草や草花との近景植栽によって奥行き感を出した。

門まわり使用資材

造園設計・施工=安行庭苑

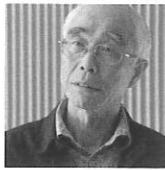


ブルーの建物に映えるように、あえて落ち着いた表情のアンティークレンガを用いてヨーロッパの石畳のような前庭とした。玄関アプローチを真ん中に取り、その両脇に1台ずつ車を駐車できるようにし、その両サイドにシラカシなどの雑木を折り重なるように植栽して、駐車場でありながら森の中を抜けていくような光景を演出した。門柱は建物や前庭の雰囲気に合わせ、左官塗りの門柱に枕木を組み合わせてナチュラルテイストに仕上げた。

230号に 協力いただいた 作庭家・ 造園家リスト

P010

撮影=大庭 格



上野周三 (うえの・しゅうぞう)

麻布植祐

作庭家。(有)麻布植祐取締役。1947年東京生まれ。中根庭園研究所を経て73年独立。84年(有)麻布植祐を設立。茶庭を中心に個人邸、店舗、美術館などの庭を手掛ける。2007年「鈴鹿かまぼこ本店」茶庭(白井 隆氏共同設計/神奈川・小田原市)、10年「都筑民家園」(横浜・都筑区)、13年「HOUSE VISION」現代茶室(杉本博司氏設計監修/東京・江東区)、14年「護国寺」立体豊茶羅「枯山水」(東京・文京区)など。
〒106-0047 東京都港区南麻布3-3-31
Tel.03-3444-3995

P028

井上雅道 (いのうえ・まさみち)

涼仙

(有)涼仙代表取締役。1973年埼玉県生まれ。2001年に涼仙設立。2008年「丸の内通りガーデンショー」大賞受賞。2009年に下田外浦「別邸 洛邑」作庭。2010年にロサンゼルスにて作庭。2013年に日本医療科学大学にて作庭。
〒350-0804 埼玉県川越市下広谷332-17 森 風叶 A-1
info@ryo-sen.com <https://www.ryo-sen.com>



P032

加茂宏和 (かも・ひろかず)

造園 KAMON

造園 KAMON 主宰。1980年愛媛県生まれ。1999年、愛媛県立西条農業高等学校造園科卒業。2001年、岡山山の造園会社に就職。2006年、add up gardenにて独立し、同年カナダへ留学。2010年「造園 KAMON」に改称。「第26回全国都市緑化おかやまフェア」奨励賞受賞。建築資料研究社『現代ニッポンの庭 百人百庭』に掲載される。
〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見437-7
Tel.086-239-2804 Fax.086-239-2804
zouen.kamon@gmail.com



造園 KAMON

P036, 039

山本尚徳 (やまもと・なおのり)

NIWANIWA (庭庭)

NIWANIWA (庭庭) 代表。庭師。1983年生まれ。博多の奇抜な師のもとで7年間修業後、故郷の愛媛県にて独立。現在は奇抜な妻と二人三脚で、お互いのアイデアをぶつけ合いながら、「奇抜が自然に溶け込む」庭づくりを根底に置き、更なる奇抜を探索し続けている。
〒790-0062 愛媛県松山市南江戸6-7-17-5
Tel.089-989-5587
niwa@niwa-niwa.jp <http://niwa-niwa.jp>



P042

岡田隆司 (おかだ・たかし)

植信

植信代表。作庭家。1975年福島県生まれ。陸上自衛隊に4年間勤務。強い精神力と自尊心を学ぶ。退職後、造園業に携わる。ライフスタイルの変化にマッチした新たな作庭をテーマに、つくり込まない「自然に調和する」庭づくりを心がけている。
〒961-0106 福島県西白河郡中島村大字二子塚字西内37
Tel.0248-52-3326 Fax.0248-21-5015
<http://niwauaesin.com/> Instagram: niwauaesin



P046

猪鼻一帆 (いのな・かずほ)

いのはな夢創園

いのはな夢創園代表。1980年京都府生まれ。高校卒業後、熊本県の(有)中野造園にて修業。いのはな夢創園二代目代表。建築及び庭に関する職人衆、[en] project 共同代表。「Gardening World Cup 2014」金賞、最優秀施工賞、People's Choice 賞、「Singapore Garden Festival 2016」金賞の各賞を受賞。
〒601-1416 京都府京都市伏見区日野岡西町4-30
Tel.075-572-1546 Fax.075-634-7807
musouen@mbn.nifty.com <http://musouen.net>



P049

佐野友厚 (さの・ともあつ)

庭友

庭友主宰。造園家。1979年京都市生まれ。1998年第24回全国造園デザインコンクール高校生の部、作庭実習作品部門入選(京都府立農芸高等学校)。2002年京都造形芸術大学卒業後、日本庭園・歴史遺産研究センター客員研究員として、南米のベネズエラ中央大学にて作庭実技講義を行い、帰国後、独立。2010年京都造形芸術大学大学院修士課程修了。
〒615-8251 京都市西京区山田猫塚町9-34
Tel.&Fax. 075-755-7424
<http://www.teiyu28.jp>



P052

柴田正文 (しばた・まさふみ)

スペースジャパン

(有)スペースジャパン代表取締役。(一社)日本庭園協会常務理事。1949年福岡県生まれ。愛知県立芸術大学デザイン科卒業。三越本店に12年間勤務。東京庭苑の小形研三氏より雑木の庭の作法を学ぶ。日本庭園協会主催の昭和57年、59年伝統庭園技塾に参加。
〒197-0802 東京都あきる野市草花2100-63
Tel.&Fax.042-559-9805
space-japan@green.email.ne.jp



P055, 058

小畑栄智 (おはた・よしのり)

よっちゃんの庭工房

よっちゃんの庭工房代表。庭師。1977年宮城県生まれ。柴田農林高等学校卒業。竹園園で修行後、2009年に「よっちゃんの庭工房」設立。2005年小畑庭園研究会を発足、主催。「とうほくバラとガーデニングフェスタ2013」最優秀河北賞を受賞。
〒989-0275 宮城県白石市字本町11
Tel.&Fax.0224-26-6380
yocchannoniwakoubou@major.ocn.ne.jp
<http://www.yocchannoniwakoubou.com/>



P061

塩野潤 (しおの・じゅん)

塩の

塩の代表。1972年東京都生まれ。武蔵村山市在住。普通高校卒業後、京都・久保造園にて修業。その後西日本各地の植木屋の親方を巡り居候をして庭を習い、97年東京・鶴川の安語庭園にたどり着き、すべてをひっくり返される。現在、修行中。
〒208-0004 東京都武蔵村山市本町2-34-5
Tel.&Fax.042-567-5676
shiojun@k8.dion.ne.jp <http://shiono.biz>



P084, 085

小西範揚 (こにし・のりあき)

田主丸緑地建設

(有)田主丸緑地建設取締役。1972年福岡県生まれ。95年東京農業大学造園学科卒業。99年(有)田主丸緑地建設を継ぐ。個人邸・集合住宅・商業施設・寺院、街づくりプロデュース、プロダクトデザイン、エクステリア設計・監修など、雑木の庭からガーデンまで幅広く手掛ける。
本社：〒839-1232 福岡県久留米市田主丸町常盤467
Tel.0943-72-4600 Fax.0943-72-2863
<http://tanushimaru.co.jp/>



P085

松井信 (まつい・まこと)

アトリエグリーنز

アトリエグリーنز代表。1977年奈良県生まれ。近畿大理工学部建築学科卒業。建築デザイン事務所・外構造園設計施工会社を経て、2011年アトリエグリーنز設立。住宅・商業施設等のガーデン&エクステリア設計施工・デザイン業務などで近畿圏を中心に活動。中央工学校OSAKA・E&Gアカデミー講師。「住宅の庭 [角地のオアシス]」が2016年度グッドデザイン賞を受賞。2017年、エクステリア人材育成協議会 優秀技能者顕彰。
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-5-11 コラムビル2F
Tel.06-6226-7351 Fax.06-6226-7352
matsui@a-greenz.jp <https://www.a-greenz.net>



P086

安藤 潔 (あんどう・きよし)

安行庭苑

(株)安行庭苑代表取締役。造園家・ガーデンデザイナー。1971年神奈川県生まれ。時代の流れに左右されない、素材を生かした「経年美化」していく外回り空間の構築を心掛ける。都内、埼玉県内を中心に文化財庭園、寺院庭園、記念館庭園、個人邸外回り空間等の設計・施工・管理に携わる。ジャパンガーデンデザイナーズ協会(JAG)副会長。一級造園技師。
〒334-0071 埼玉県川口市安行慈林452
Tel.048-290-1682 Fax.048-290-1636
info@angyoteien.com <http://www.angyoteien.com>



P087

東松 功 (とうまつ・いさお)

東松エクステリア

(株)東松エクステリア3代目代表取締役。1981年岐阜県生まれ。岐阜県立岐阜商業高等学校卒業。名古屋の外構施工会社で2年修行後、東松エクステリアを継ぐ。現在T's GARDEN SCHOOL所属。2016年LIXILエクステリアコンテストファサード部門銀賞受賞。他、おしゃ楽、三協アルミ、東洋工業、B-life等が主催するコンテストにて受賞歴あり。
〒501-6318 岐阜県羽島市上中町字2627
Tel.058-398-7990 Fax.058-398-7992
info@tomatsu-ex.co.jp <http://tomatsu-ex.co.jp/>

